

横浜市教育委員会 定例会会議録

- 1 日 時 平成22年1月12日（火）午前10時00分
- 2 場 所 教育委員会会議室
- 3 出席委員 今田委員長 小濱委員 吉備委員
中里委員 野木委員 田村委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 日 程

平成22年1月12日（火）午前10時00分

- 1 会議録の承認
- 2 教育長一般報告・その他報告事項
平成22年「成人の日」を祝うつどいについて ほか
- 3 審議案件
教委第52号議案 平成21年度横浜市教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について
- 4 その他

[開会時刻：午前10時00分]

～傍聴人入室～

今田委員長

ただいまから、教育委員会定例会を開催いたします。
はじめに、会議録の承認を行います。前回、平成21年12月22日の会議録署名者は野木委員と私です。会議録につきましては、すでにお手元に送付してございますが、字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

今田委員長

それでは、承認いたします。なお、字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。次に、議事日程に従い、教育長から一般報告をお願いします。

田村教育長

【教育長一般報告】
1 市会関係
特になし

2 市教委関係
(1) 主な会議等
○ 1/11 平成22年「成人の日」を祝うつどい（横浜アリーナ）

(2) 報告事項
○ 平成22年「成人の日」を祝うつどいについて
○ Y150教育プログラム参加校アンケート集計結果について

3 その他

今田委員長

教育長の報告が終了しましたが、ご質問等ございますか。
特にご質問等がなければ、先程、教育長より、別途所管課から説明とありました「平成22年「成人の日」を祝うつどい」について説明をお願いします。

鹿嶋生涯学習
部長

【「平成22年「成人の日」を祝うつどい」について説明】

今田委員長

所管課から説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。
無事に終わることができてご苦勞様でした。私も登壇をさせていただきましたが、市長や議会代表のあいさつも、ただ、あいさつ文を読むのではなく、それぞれに心に触れる内容で、自分の言葉で経験をお話になっておられたので良かったと思います。白石さんのお話も感銘を与えたと思いました。来年以降もあのような立派な方を探すのは大変ではないかと思いました。

田村教育長	毎年、新成人は変わりますので、白石さんには毎年出ていただきたいと思うぐらいでありました。また、警備の面では今年も多く職員を動員いたしました。1時間以上前から入場させておりましたが、開会時にまだ入りきれない方がいらっしゃいました。また、会場の横浜アリーナは大変広い会場でありますので、多少騒ぎがあっても会の進行自体に影響が出るようなことはないのですが、それでも細かく見ますと、会場のあちこちでざわついたり、奇抜な格好をしたりする新成人もおりました。いずれにいたしましても、横浜の成人式の型は定着してきたのではないかと思います。
今田委員長	他にご質問等がなければ、次に、「Y150教育プログラム参加校アンケート集計結果」について説明をお願いします。
池尻教育政策課長	【「Y150教育プログラム参加校アンケート集計結果」について説明】
今田委員長	所管課から説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。
小濱委員	1ページのアンケート結果ですが、②から④は学習に関わるもので、⑤の「教育プログラムを学習に効果的に活用できた」の割合が小さいので、マイナスイメージに捉えてしまうかもしれませんが、②③④が⑤に含まれるのではないかと思います。
池尻教育政策課長	この設問を考えましたときに、Y150教育プログラムの目的に照らしまして、事務局で選択肢を作成しました。
小濱委員	その他の小・中学生の声などを見てみますと、学習に効果的だったという結論が出ていると思うのですが。
池尻教育政策課長	そういう声がある一方で、特に高学年におきまして、学習においてもそうですが班づくり行動などで役に立ったというご意見も頂いております。
小濱委員	2ページの「その他の主な意見」で「アニメ映画は子どもが安心して観られる内容にしてほしかった」とありますが、保護者からの意見ですか。
池尻教育政策課長	学校に対してアンケートをしておりますので、その回答をしたのは全て教員です。
小濱委員	これは、子どもが安心して観られないような内容が含まれていたのでしょうか。
池尻教育政策課長	ベイサイドエリアの中で「BATON」という3部構成の映画を上映したのですが、その中の第1章のところで、ロボットの戦闘シーンが長く続く部分があり、特に小学校低学年においてそのシーンを観たときに衝撃を受ける児童がいるのではないかと意見が下見等の時にございましたので、教育委員会としましては、各校に下見をした上で視聴するか判断してほしいとお願いした経緯がございます。この内容を指しているものと思われま。

小濱委員

残酷ともとられかねないようなものなのではないでしょうか。

池尻教育政策
課長

アニメに出てきますのが、見た目は人間で中身はロボットなのですが、戦闘シーンの中で、ロボットの首が取れたりしますので、よく見ればロボットだということがわかるのですが、観る人によってはショックを受けることが想定され、特に低学年のお子さんへの配慮が必要ということで教育委員会として対応いたしました。

小濱委員

しかし、これは多数意見ではないですね。

池尻教育政策
課長

意見数は把握しておりません。

中里委員

実際にご覧になるとわかりますが、私も非常に残酷だと思いました。3部全てを観れば良いと思いますが、部分的にしか観れませんので、私は非常に残酷と感じました。

大勢の小中学校が参加しましたし、体力的な問題や、開催時期が暑い時期でもありましたので、日程が各学校で配慮をしながら組めれば良かったという課題があったかと思います。実際には、多くの学校が参加しましたので、スケジュールの中に組み入れざるを得なかったのだと思います。また、参加形態は各校の裁量の部分があっても良かったのではないかと思います。と言いますのは、教育プログラムから選んでいくと、それ以外の無料の部分ですばらしい企画があったのですが、プログラムの中で動いてしまうと物足りなさがあったのではないかと思います。

野木委員

感想になってしまいましたが、今回Y150についてはいろいろなことが言われていますが、有料以外のエリアで非常に良いことをやっていたなと思いました。子どもの感想を見ましても、特にヒルサイドエリアにおいて参加型のイベントを行っていたところでは、非常に評価が高かったということがうれしく思いました。また、今後のイベントは、今までのような箱物の中で大きなものをやるのではなく、参加型のイベントというものがイベントを盛り上げ、参加して良かったという気持ちにさせるということがわかった気がいたします。

先ほどの「BATON」の件ですが、私も3部全て観たのですが、何を言いたいのがわかりませんでした。むしろ、有料会場でない場所、FUNプロジェクトの展示などは素晴らしいと思いました。これらの無料のイベントをもっと知らせるべきだと思いました。

田村教育長

Y150そのものの評価についてはさまざまありますし、議会でもいろいろな議論があることは承知しております。今回のアンケートをしまして改めて思いましたことは、Y150を横浜の子どもたちが港や横浜の歴史を考えるきっかけにしてもらいたいと思い、参加していただきましたが、事前や事後の学習の様子を見てみますと、非常に前向きに取り組んでいるということが表れていると感じました。

吉備委員

子どもたちにとっては、企画の内容はともかく、実際に足を運んで港を体感できたということは大きなことだったと思いますし、各校でいろいろなご苦勞をかけて、子どもたちを誘導していただいたことに感謝申し上げます。

さて、今年から開港記念日は授業があり、これまでも、各学校において横浜の歴史について触れてご指導いただいていると思いますが、今年から学校があるということを生かして、教育内容についていま一度ご検討いただきたいと思います。

また、これまでも開催してきました、横浜青年会議所が行っております「横浜開港祭」など、地元の経済団体のお祭りをうまく活用していただきながら、それを教育内容として生かすことも考えていただきたいと思います。

開港記念日を横浜市民が忘れていかないためにも、何かお金をかけない取組が考えられるのではないかと思います。例えば、赤い羽根募金の期間に小さな羽根をつけているように、開港記念日の前後一週間は子どもたちが何かを身につけるとか、それを市役所や区役所の職員も身につけるなど、開港記念日を忘れない取組や仕掛けを考えていただければと思います。

今田委員長

9ページの資料にあります。8割の子どもが横浜が好きと答えています。また、昨日の成人式の実行委員会がまとめたアンケートでは、98%の方が横浜が好き、2%の方がどちらでもないと答え、ノーと答えた方は0%だったということで、感心していたところです。このY150を機に開国・開港を多くの方が意識されたと思います。

昨年の12月12日に、開港150周年記念コンサートがあり、私も聴かせていただきました。その時に横浜市歌が、市民アンケートの「好きな横浜の歌」第4位に選ばれていることを知りました。市民の中に開港というものが随分心の中に深く生きているのだなあと感じました。

今、吉備委員が6月2日の話をされましたが、新しい学習指導要領の中で授業時間数の確保が必要で、昨年は開港150周年ということで、特例で休業日としましたが、開港記念日を休業日としないこととしました。

これらのイベントの結果などを見ますと、我々の思っている以上に市民の皆さんの気持ちの中に6月2日というものはあるのではないかと感じました。世の中の目まぐるしい動きの中でも、親子の絆を確保する象徴的な日になるのではないかと思います。例えば、6月2日は親子で港の周辺を歩きながらスキンシップをとるということも大事だと思います。6月2日を休業日としないことを昨年度決めましたが、失われつつある親子の絆を担保できるものにもできるのではと思います。いま一度この150周年を機に委員の皆さんのお考えを伺いたいところです。

田村教育長

昨年の6月2日は、開港150周年ということで、特例で学校をお休みにし、お祭りの盛り上げに一役買ったことは間違いないことだと思います。開港記念日を市民の中に定着させ、横浜の歴史を振り返るよすがにすることだと思います。市全体として開港記念日を今後はどうつなげていくのか、その仕掛けというものを考えていくべきだと思いますし、議論があつてよいと思います。

- 小濱委員 先ほどの委員長の意見自体は賛成ですが、授業日数の兼ね合いもあるでしょうから、一応授業日とした上で、開港記念日として、横浜の歴史への理解を深める特別な授業の日であるという設定をすることも可能だと思います。
- 今田委員長 少々言葉が足りなかったのかもしれませんが、教育の中には、学校の授業で学ぶものと、そうではなくて、授業とは別に学べるものがあると思います。授業としてでなく、もっとおおらかな部分が横浜には幸いにあるのではないかと思います。他の都市には望みがたいものかもしれません。都市の発展を見る中で、教室の中で学び得ないものがあるのではないかと一連のイベントの中で感じました。
- 小濱委員 授業で味わえないものというのは、ことさら開港記念日をそういう日にと考えなくてもよいのではないかと思います。
- 田村教育長 開港記念日そのものは、教育委員会が定めることではありません。近代史的には厳しい状態を迎えるスタートの日でもあります。6月2日がないければ、今の横浜の街はなかったわけであり、横浜にとってはなくてはならない日です。
横浜市歌については、昨日の成人式でも歌われたのですが、あまり声を大きくして歌っている人はいませんでした。親しまれていると言われている一方で、子どもたちに歌い継がれているのかなと言われるとどうなのかと思いました。横浜市歌については、横浜版学習指導要領の中で、横浜の子どもたちは市歌を歌えるようにしっかりと位置づけております。このようなことから郷土を愛し、横浜ということをしかりと意識していくということはとても大事なことだと思います。そのような中で、休業日の扱いについてどうするのかという問題は、授業日数の確保とどう折り合いをつけていくのかであると思います。
- 小濱委員 昨年場合は150周年ということで大きなイベントなどがあり、休業日にしたことは意味のあることだったと思いますが、毎年休業にしてしまうと、必ずしも横浜に対する意識を高めるといふことよりも、単に休みだから嬉しいということになりかねないと思います。私からの提案は、まずは学校に来ていただいて、事前に予備学習などをしていただいて6月2日が大事な日なんだという認識を与えるということもあると思います。
- 田村教育長 今、各学校が編制する教育課程の中でも、例えば社会科の中で横浜について学ぶことがあります。それらに関連づけて子どもたちは学習している実態がありますし、開港記念日について、横浜の開港について、子どもたちが考えるという場面は今でも用意されており、それぞれの学校では工夫を凝らしながらいろいろと取り組んでいます。それをどう効果的に行っていくか、それをどう後押しするかということも考えなければならぬと思います。今日のところは問題提起ということによって受けとめております。

今田委員長 他にご質問等がなければ、議事日程に従い、審議案件に移ります。まず、会議の非公開について、お諮りします。教委第52号議案「平成21年度横浜市教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について」は、人事案件のため、非公開としてよろしいでしょうか。

各委員 <了 承>

今田委員長 それでは、教委第52号議案は非公開といたします。審議に入る前に事務局に確認ですが、何か報告事項はありますか。

高橋総務課長 12月22日、「歴史教科書問題を考える港北の会」から、「自由社出版『中学歴史教科書』採択の撤回とやり直しを求める陳情書」が提出されました。12月28日、個人1名から、「義務教育諸学校の教科書採択地区を以前のように18地区に戻すことを要請する請願」が提出されました。これらの陳情書・請願書につきましては、事務局で調整の上、次回以降にお諮りいたします。

12月28日、個人1名から、「30人以下学級実現することを要請する請願」が提出されました。本請願書につきましては、教育長に委任する事務等に関する規則第2条の規定に基づき、事務局で調整し、回答させていただきます。

次回の教育委員会臨時会については、1月26日、火曜日の午前10時から開催いたしますので、よろしくお願ひします。

今田委員長 皆さん、よろしいでしょうか。それでは、次回の教育委員会臨時会は1月26日、火曜日の午前10時から開催することとします。

その他、委員の皆さんから何かございますか。

特にご発言等なければ、本日の審議案件は非公開案件のみですので、傍聴の方はご退席願ひます。また、関係部長以外の方もご退席ください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

<削 除>

今田委員長 これで、本日の教育委員会定例会を閉会といたします。

[閉会時刻：午前11時25分]